

No. 26 桜樹「てんぐ巣病」防除について（平成 31 年 3 月受付）

内容	<p>3 月末「桜まつり」が開催されますが、多数の「桜樹」は「てんぐ巣病」で花咲かぬ枝があります。</p> <p>花がない時期、あちこちと病枝が目立ちます。</p> <p>樹木医的才能ある方による「病枝切除」「病原菌消毒」など、病害防除対策を実施下さいますようお願いいたします。</p>
回答	<p>お手紙をいただきました桜は、さくらまつりの会場となる大多喜城及び大多喜城周辺の町施設等にある桜のことと思われましたので、現地を確認したところ、大多喜城の桜についてはてんぐ巣病と思われる桜がいくつか見られました。そのため、大多喜城にてんぐ巣病を罹った桜がある旨を話したところ、毎年管理者から地元造園業者に依頼し、てんぐ巣病が発生している枝の切除や育成の妨げになる樹木の伐採などを行っているとの回答がありました。</p> <p>また、お城周辺の町施設であります町道沿いや城下駐車場では、てんぐ巣病と思われる桜が多く見受けられました。そのため、今後は専門業者と相談し、適切な時期にてんぐ巣病のある枝の切除等の対応をして参りたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>